(再評価)

資料2-3-② 関東地方整備局 事業評価監視委員会 (平成25年度第5回)

一般国道246号厚木秦野道路

平成25年9月13日 国土交通省 関東地方整備局

^(事業全体) 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その 他の別
一般国道246号	厚木秦野道路	8. 4km	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6, 000~6, 500	4	関東地方整備局

①費用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成25年度	
単純合計	569億円	136億円	705億円
うち残事業分	354億円	136億円	490億円
基準年における 現在価値 (C)	537億円	41億円	578億円
うち残事業分	283億円	41億円	324億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計		
基 準 年		平成25年度				
供用年		平成	35年度			
単年便益 (初年便益)	53億円	4. 9億円	1. 7億円	59億円		
基準年における 現在価値(B)	730億円	68億円	24億円	822億円		
うち残事業分	730億円	68億円	24億円	822億円		

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 4
経済的純現在価値(事業全体)	244億円
経済的内部収益率(事業全体)	5. 4%
費用便益比(残事業)	2. 5
経済的純現在価値(残事業)	498億円
経済的内部収益率 (残事業)	9.8%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6,000~6,500 (台/日)	±10%	1.3~1.4
事業費	569億円	±10%	1.3~1.6
事業期間	25年	±2年	1.3~1.6

④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6,000~6,500 (台/日)	±10%	2. 4~2. 5
事業費	354億円	±10%	2.3~2.8
事業期間	9年	±2年	2. 4~2. 8

交通状況の変化

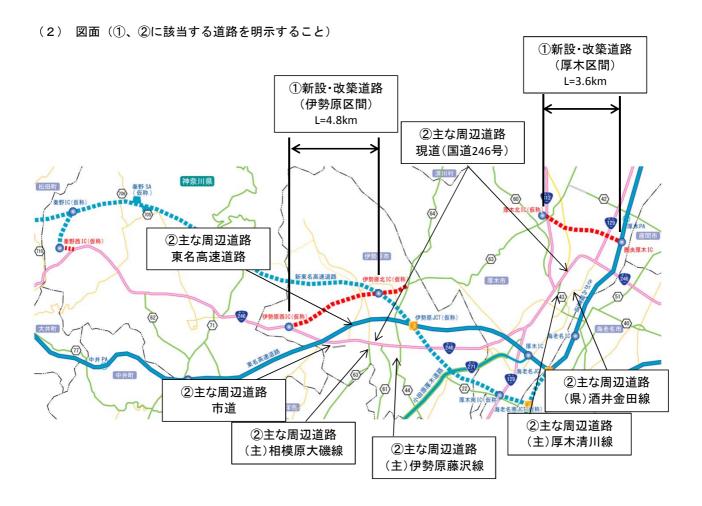
<u>事業名:厚木秦野道路</u>

(事業全体・残事業) (推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・さ	坎築道路	交通量	[台/日]	_	6, 200
[バイパス	等]	走行時間	[分]	_	6
8. 4	km	走行時間費用	[億円/年]	_	6. 29
②主な周 辺道路	現道(国道 246号)	交通量	[台/日]	27, 600	26, 100
	19. 1	走行時間	[分]	43	40
	km	走行時間費用	[億円/年]	220. 75	197. 38
	(主)伊勢 原藤沢線	交通量	[台/日]	11, 800	11, 000
	6. 2	走行時間	[分]	13	13
	km	走行時間費用	[億円/年]	28. 34	26. 22
	東名高速 道路	交通量	[台/日]	95, 500	94, 600
	16. 6	走行時間	[分]	13	13
	km	走行時間費用	[億円/年]	240. 97	238. 42
	(県)酒 井金田線	交通量	[台/日]	17, 800	15, 800
	6. 1	走行時間	[分]	14	13
	km	走行時間費用	[億円/年]	47. 54	38. 49
	(主)相模 原大磯線	交通量	[台/日]	18, 000	17, 300
	4. 6	走行時間	[分]	9	9
	km	走行時間費用	[億円/年]	30. 86	29. 74
	(主)厚木 清川線	交通量	[台/日]	14, 200	11, 700
	1. 7	走行時間	[分]	3	3
	km	走行時間費用	[億円/年]	7. 59	5. 77
	市道	交通量	[台/日]	12, 500	9, 000
	1. 9	走行時間	[分]	5	4
	km	走行時間費用	[億円/年]	10. 18	6. 10
③その他	道路合計 1259.4km	走行時間費用	[億円/年]	6, 013. 78	5, 998. 83

		う時間費用 走 備なし(A) 整	き行時間費用 走 整備あり(B)	E行時間短縮便益 (A − B)
合計:1323.9km 走行時間短縮便益 [億P	円/年] 6	5, 600. 01	6, 547. 22	52. 8

[※] 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。



費用便益分析の条件

事業名:厚木秦野道路

(2)

			項目	チェ	ニック欄
		費用便益分	折マニュアル		
	算出マニュアル	(平成20年1	1月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局	引)	
		その他			
		分析対象期間		50	0年間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	率		4%
		基準年次		平月	式25年
	交通流の	1時点のみ推	辪		(H42)
	推計時点	複数時点での	の推計		
		整備の有無る	それぞれで交通流を推計		
	 推計の状況	整備の有無の	のいずれかのみ推計	□有	□無
	推引の4人次	いずれかのみ	いずれかのみの推計とした理由を記載		
		の推計の場合			
		道路交通セン	ンサスをベースとした自動車OD表		
	₩₩₩	(三段階推定	法)	(H171	センサス)
	推計に用いた OD表	パーソントリッ	ップ調査をベースとした自動車OD表		
	001	(四段階推定	法)		П
		その他()		
交		無			
通	開発交通量の 考慮	有			
流			考慮した開発交通量(トリップ数)	() 🗧	うトリップ/日
推		有の場合のみ	考慮した理由を記載		
計					
		Q-V式を用	いた配分		
		転換率式を月	用いた配分		
		QーV式と転	換率式の併用による配分		
		均衡配分(リ	ンクパフォーマンス関数を用いた配分)		
		簡易手法			
	配分交通量の	簡易手法の	小規模事業である		
	推計手法	採択理由	山間部海岸部で併行道路が少ない		
			その他()		
		間易手法の考え	方(将来交通量の設定方法等)		
		7 0 lb /			
		その他(<i>)</i> 次乙叶の法庭と立 落 見るも、八 仏仏		
			終了時の速度を交通量でウェイト付け		
		して設定 採用理由を記載	な交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通	 	
),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	等が混在した配分結果となっているため、費用便益算に		
	速度設定の		ずる加重平均速度を用いた。		
	考え方	早级 町 八 の 、	事		
İ		最終配分の道採用理由を記載			<u> </u>
		その他(1		П
		てい他()		

(3)

			項目	チェック欄
		考慮しない		
		考慮する		
	ルロナ/マ の		面的に考慮	
	休日交通の 影響		対象路線のみ考慮	
		考慮する 場合のみ	採用した休日係数	() %
		场口0707	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考えた	うを記載
		考慮しない		
		考慮する		
			採用した通行止め日数	() 日
	災害等による		採用した通行止め日数の考え方を記載	·····
	通行止めの 影響	考慮する		
	が音	場合のみ	とり止め交通を考慮する	
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合(はその考え方を記載
		考慮しない		
		考慮する		
		, ,	採用した冬期日数	() 日
	冬期交通の	考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	'
便	影響			
益			冬期の走行速度と交通容量の関係	
の			設定の考え方を記載	
算定				
疋	交通流推計の	ブロック別・車	■種別走行台キロの伸び率による設定	
	時点以外の	その他		П
	便益の算定	()	Ц
		費用便益分析	折マニュアルの値を使用	
	車種別時間	独自に設定し	た値を使用	
	価値原単位			
		費用便益分析	折マニュアルの値を使用	
	車種別走行	独自に設定し	た値を使用	
	経費原単位			
	交通事故減少	中央分離帯の	の有無を考慮	
	便益算定	中央分離帯の	の有無を考慮しない	
	│ 走行時間短縮・走	考慮しない		
	行経費減少•交通	考慮する		
	事故減少以外の便	(考慮の場合、	算出根拠を添付すること)	
	<u>益</u>			
	その他			

(4

	項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
		詳細事業計画による値を採用			
	事業費	標準投資パターンを採用			
費		その他()			
用	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載			
の	推行自任其	関東地整における既存路線の実績を参考に設定。			
算	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である			
定	その他				
4.	その他				

費用の現在価値算定表

箇所名:厚木秦野道路(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

四川口: 子个来到 追叫	0.34	8.4	2.86				
		割戻率	GDP	事業費		維持管理	費(億円)
年次	年度		デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-25年目		0 1.8009	109.9	1.01	1.52		
-24年目		1 1.7317	108.4	0.94	1.39		
<u>−23年目</u> −22年目		2 1.6651 3 1.6010	107.2 105.7	4.53 14.14	6.49 19.72		
-21年目		4 1.5395	103.7	12.98	17.73		
-20年目		5 1.4802	102.3	18.63	24.82		
-19年目		6 1.4233	101.0	27.06	35.13		
-18年目		7 1.3686	99.6	32.89	41.62		
-17年目	H 1	8 1.3159	98.7	18.19	22.34		
-16年目	H 1	9 1.2653	97.6	13.49	16.11		
-15年目		0 1.2167	96.8	22.43	25.97		
-14年目		1.1699	95.6	10.80	12.17		
-13年目	_	2 1.1249	93.7	12.70	14.05		
		1.0816 1.0400	92.1 92.1	1.38 7.26	1.49 7.56		
-10年目		25 1.0000	92.1	16.44	16.44		
-9年目		26 0.9615	92.1	32.61	31.36		
-8年目		7 0.9246	92.1	45.38	41.96		
-7年目		.8 0.8890	92.1	55.24	49.11		
-6年目		9 0.8548	92.1	48.62	41.56		
-5年目		0.8219	92.1	43.49	35.74		
-4年目		0.7903	92.1	34.09	26.94		
-3年目		0.7599	92.1	25.28	19.21		
-2年目		0.7307	92.1	25.24	18.44		
		0.7026 0.6756	92.1	44.23	31.07	2.72	1 0 4
1年目		36 0.6496	92.1 92.1			2.72	1.84 1.77
2年目		37 0.6246	92.1			2.72	1.77
3年目		8 0.6006	92.1			2.72	1.64
4年目	Н 3	0.5775	92.1			2.72	1.57
5年目	_	0.5553	92.1			2.72	1.51
6年目		0.5339	92.1			2.72	1.45
7年目		0.5134	92.1			2.72	1.40
8年目	_	0.4936	92.1			2.72	1.34
9年目 10年目		0.4746 5 0.4564	92.1 92.1			2.72 2.72	1.29 1.24
11年目		6 0.4388	92.1			2.72	1.24
12年目		7 0.4220	92.1			2.72	1.15
13年目		8 0.4057	92.1			2.72	1.11
14年目		9 0.3901	92.1			2.72	1.06
15年目	_	0.3751	92.1			2.72	1.02
16年目		0.3607	92.1			2.72	0.98
17年目		0.3468	92.1			2.72	0.94
18年目	_	0.3335	92.1			2.72	0.91
19年目 20年目		0.3207 5 0.3083	92.1 92.1			2.72 2.72	0.87 0.84
20年日 21年日		6 0.2965	92.1			2.72	0.81
22年目		0.2851	92.1			2.72	0.78
23年目		0.2741	92.1			2.72	0.75
24年目		9 0.2636				2.72	0.72
25年目		0.2534	92.1			2.72	0.69
26年目		0.2437	92.1			2.72	0.66
27年目		0.2343	92.1			2.72	0.64
<u>28年目</u> 		0.2253 4 0.2166	92.1 92.1			2.72 2.72	0.61
30年目		0.2166 0.2083	92.1			2.72	0.59 0.57
31年目		6 0.2003	92.1			2.72	0.55
32年目		0.1926	92.1			2.72	0.52
33年目		0.1852	92.1			2.72	0.50
34年目		0.1780	92.1			2.72	0.48
35年目		0 0.1712	92.1			2.72	0.47
36年目		0.1646	92.1			2.72	0.45
37年目		0.1583	92.1			2.72	0.43
38年目 39年目		0.1522 4 0.1463	92.1 92.1			2.72 2.72	0.41
40年目		75 0.1407	92.1			2.72	0.40
41年目		6 0.1353	92.1			2.72	0.37
42年目		7 0.1301	92.1			2.72	0.35
43年目		8 0.1251	92.1			2.72	0.34
44年目	H 7	9 0.1203	92.1			2.72	0.33
45年目		0.1157	92.1			2.72	0.32
46年目		0.1112	92.1			2.72	0.30
47年目		0.1069	92.1			2.72	0.29
48年目		0.1028	92.1	. 020.00	00.14	2.72	0.28
49年目	H 8	0.0989	92.1	-230.02	-23.14	2.72	0.27
合 計	Ь	+	 	339.03	536.78	136.19	41.11
			ı		550.70		71.11
単純事業費計				569.05		136.19	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名:厚木秦野道路(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 延長(km)

単価(億円)

単純価値(億円)

					0.34	8.4	2.86
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費	(億円) 現在価値	維持管理 単純価値	<u>費(億円)</u> 現在価値
-9年目	H 26	0.9615	92.1	32.61	31.36		
-8年目	H 27	0.9246	92.1	45.38	41.96		
-7年目	H 28	0.8890	92.1	55.24	49.11		
-6年目	H 29	0.8548	92.1	48.62	41.56		
-5年目	H 30	0.8219	92.1	43.49	35.74		
-4年目	H 31	0.7903	92.1	34.09	26.94		
-3年目	H 32	0.7599	92.1	25.28	19.21		
-2年目	H 33	0.7307	92.1	25.24	18.44		
-1年目	H 34	0.7026	92.1	44.23	31.07		
供用開始年度	H 35	0.6756	92.1			2.72	1.84
1年目	H 36	0.6496	92.1			2.72	1.77
2年目	H 37	0.6246	92.1			2.72	1.70
3年目	H 38	0.6006	92.1			2.72	1.64
4年目	H 39	0.5775	92.1			2.72	1.57
5年目	H 40	0.5553	92.1			2.72	1.51
6年目	H 41	0.5339	92.1			2.72	1.45
7年目	H 42	0.5134	92.1			2.72	1.40
8年目	H 43	0.4936	92.1			2.72	1.34
9年目	H 44	0.4746	92.1			2.72	1.29
10年目	H 45	0.4564	92.1			2.72	1.24
11年目	H 46	0.4388	92.1			2.72	1.20
12年目	H 47	0.4220	92.1			2.72	1.15
13年目	H 48	0.4057	92.1			2.72	1.11
14年目	H 49	0.3901	92.1			2.72	1.06
15年目	H 50	0.3751	92.1			2.72	1.02
16年目	H 51	0.3607	92.1			2.72	0.98
17年目	H 52	0.3468	92.1			2.72	0.94
18年目	H 53	0.3335	92.1			2.72	0.91
19年目	H 54	0.3207	92.1			2.72	0.87
20年目	H 55	0.3083	92.1			2.72	0.84
21年目	H 56	0.2965	92.1			2.72	0.81
22年目	H 57	0.2851	92.1			2.72	0.78
23年目	H 58	0.2741	92.1			2.72	0.75
24年目	H 59	0.2636	92.1			2.72	0.72
25年目	H 60	0.2534	92.1			2.72	0.69
26年目	H 61	0.2437	92.1			2.72	0.66
27年目	H 62	0.2343	92.1			2.72	0.64
28年目	H 63	0.2253	92.1			2.72 2.72	0.61
29年目 30年目	H 64 H 65	0.2166	92.1 92.1			2.72	0.59 0.57
31年目		0.2083					
31年日 32年目	H 66	0.2003 0.1926	92.1 92.1			2.72 2.72	0.55 0.52
33年日	H 68	0.1926	92.1			2.72	0.52
34年目	H 69	0.1832	92.1			2.72	0.30
35年目	H 70	0.1780	92.1			2.72	0.48
36年目	H 71	0.1712	92.1			2.72	0.47
37年目	H 72	0.1583	92.1			2.72	0.43
38年目	H 73	0.1522	92.1			2.72	0.43
39年目	H 74	0.1322	92.1			2.72	0.41
40年目	H 75	0.1407	92.1			2.72	0.40
41年目	H 76	0.1353	92.1			2.72	0.37
42年目	H 77	0.1301	92.1			2.72	0.35
43年目	H 78	0.1251	92.1			2.72	0.34
44年目	H 79	0.1203	92.1			2.72	0.33
45年目	H 80	0.1157	92.1			2.72	0.32
46年目	H 81	0.1112	92.1			2.72	0.30
47年目	H 82	0.1069	92.1			2.72	0.29
48年目	H 83	0.1028	92.1			2.72	0.28
49年目	H 84	0.0989	92.1	-125.12	-12.37	2.72	0.27
合 計	•			229.05	283.02	136.19	41.11
単純事業費計	i i			25417		106.10	
牛깭尹未頁訂				354.17		136.19	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

40.88 40.43 2,562.51 便益合計 事故減少便益(億円) 用充価値 (3) (3)×(A) 0.42 0.40 0.38 0.35 0.33 0.31 0.18 0.29 0.27 0.26 0.24 0.22 0.22 0.20 0.19 0.12 1.20 1.31 1.29 1.27 1.26 1.26 1.32 1.23 1.21 3.34 3.21 3.08 2.96 2.84 2.73 2.73 2.52 2.52 2.30 2.19 2.09 1.99 1.73 1.65 1.57 1.42 1.36 1.29 1.23 1.12 1.07 1.02 0.97 0.88 0.84 0.80 0.76 0.69 0.65 0.62 0.59 0.56 0.54 0.51 0.48 0.44 0.42 0.40 0.38 現在価値 1.17 1.8 3.97 3.89 3.85 3.81 3.78 3.74 3.70 3.26 3.66 3.58 3.54 3.50 3.46 3.42 3.38 走行経費減少便益(億円) 1.49 2.00 1.99 1.96 1.95 1.94 1.90 2.09 2.07 2.05 2.05 2.05 2.03 1.93 1.85 1.85 1.84 1.82 1.81 1.80 1.65 .63 1.62 普通貨物 1.91 1.67 0.25 0.25 0.25 0.25 0.26 0.26 0.26 0.26 0.26 0.26 0.26 0.26 0.26 0.26 1.97 1.92 1.89 2.43 2.35 2.35 2.35 2.30 2.27 2.24 2.16 2.13 2.11 2.08 2.05 2.05 2.03 107.83 2.22 2.19 1.86 1.78 1.75 1.73 1.70 1.65 1.59 1.56 1.54 1.51 乗用車類 <u>18</u> 28.17 27.10 25.86 24.67 23.54 23.54 22.46 21.43 20.44 12.12 11.55 11.01 10.49 10.00 9.53 9.08 34.20 32.90 31.65 30.44 29.29 18.60 17.74 16.92 16.13 15.38 14.67 13.99 13.33 8.24 6.78 6.14 5.85 5.57 5.04 5.04 4.80 4.57 4.34 4.13 8.65 12.71 現在価値 52.76 52.79 52.39 51.58 51.18 50.78 50.38 49.98 49.58 45.98 45.58 45.18 44.78 44.38 43.98 43.58 52.65 52.67 52.70 52.72 52.74 49.18 48.78 48.38 47.98 47.58 42.37 42.37 41.97 41.57 39.57 52.63 46.78 46.38 43.17 40.77 40.37 39.97 36.37 厚木秦野道路(事業全体·残事業) 走行時間短縮便益(億円) 16.75 16.64 16.53 15.25 14.50 14.28 14.18 14.07 13.10 759.04 96.91 16.85 16.43 16.32 16.10 16.00 15.78 15.46 15.35 14.93 14.82 14.71 14.39 3.96 13.85 13.64 13.43 16.21 15.89 15.03 12.89 5.57 普通貨物 5.79 5.81 5.82 5.84 5.84 298.43 5.37 5.48 5.53 5.59 5.64 5.70 5.86 5.89 5.92 5.93 5.94 5.94 6.00 6.01 6.03 6.05 6.05 90.9 60.9 6.20 5.97 6.31 24.75 24.44 24.13 23.82 23.52 23.21 22.90 29.60 29.65 29.71 29.76 29.81 29.91 29.96 29.96 29.96 29.04 29.35 29.04 28.74 28.74 28.43 27.20 26.89 26.59 26.28 25.97 25.67 25.36 25.05 22.60 22.29 21.98 21.68 21.37 21.06 20.76 20.45 20.14 27.51 19.83 19.53 箇所名: GDP デルータ 92.1 95. 92. 92. 92. 92. 92. 92. . 76 95. 92. 92. 95. (A) 0.6756 0.4746 0.4564 0.4388 0.4220 0.4057 0.5553 0.5339 0.5134 割戻率 0.3901 0.3751 0.3468 . 00216 . 00215 0. 99187 0. 99180 0.99145 0.99200 99193 0.99166 0.99159 0.9915299019 60066 0.99218 0.99206 0.99074 99029 0.99259 0.99212 0.99099 0.99090 0.99082 0.99056 0.9904 0.991 0.991 0. 991 0. 991 0. 991 0.991 1.00989 00230 00224 00229 . 00232 1.0022 総走行台キロの年次別伸び率 (関東臨海ブロッり) 普通貨物車 99520 99518 99516 99516 99523 0.99509 0.9933999292 0.99147 0.99368 0.99511 00174 1.00172 0.98804 0.98775 0.98744 98728 09986 98859 0.98760 98584 便益の現在価値算定表 0.98884 0.98790 0.98623 0.98453 .886 388 年度 ^{基準年)} H25 54 55 H 83 84 40 42 43 44 45 46 47 48 49 20 25 28 29 09 62 64 65 99 89 69 75 79 36 38 39 51 53 22 67 (株用開始4年) (株用開始4年) (4年目 (5年目 (5年目 (6年日 (6年日 (6年日 (7年日 (16年日 (17年日 24年目 25年目 26年目 27年目 28年目 29年目 30年目 33年目 34年目 35年目 36年目 37年目 38年目 39年目 40年目 41年目 42年目 43年目 44年目 45年目 46年目 31年目 32年目 49年目 23年目 48年目

54.46

54.91

54.01 53.55 53.10 52.65

52.20 51.74 51.29 48.12

48.57

47.22

50.84 50.39 49.93 49.48 49.03

46.31 45.86 45.41

44.95

44.50 44.05 43.60 43.14 42.69 42.24

56.72

56.27

55.82 55.36

58.53 58.08 57.63 57.17

59.39 59.44 58.99

59.41

821.73

計 (億円) 現在価値 割引率4%

ŲП

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道246号	厚木秦野道路	4	8.4 km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					20,747	【消費税込み】
	改良費				5,195	
		土工	m3	2,267,680	1,647	
		軟弱地盤改良工	m3	100,014	188	
		法面工	m2	98,230	95	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,472	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m		45	
		函渠工	m	641	342	
		排水工	m	4,405	107	
		中央分離帯工	m	4,885	133	
		雑工	式	1	1,166	連絡等施設費+跨道橋+埋文調査
	橋梁費				5,093	
		100m以上	m	1,187	3,542	
		100m未満	m	161	1,551	
	トンネル費				3,663	
		NATM	m	1,689	2,853	
		シールド	m	151	810	
	IC・JCT費				5,484	
		IC	箇所	3	5,484	厚木北IC+伊勢原北IC+伊勢原西IC
		JCT	箇所			
	舗装費				965	
		車道舗装	m2	93,915	965	
		步道舗装	m2			
	附帯施設費				347	
		交通管理施設工	式	1	272	
		遮音壁	m	470	75	
②用地及:	補償費		式	1	29,510	
	用地費		m2	514,811	23,002	
		宅地	m2	62,918	9,251	
		田畑	m2	385,590	13,114	
		山林·原野	m2	90,942	637	
		その他	m2			
	補償費	•	式	1	6,508	
③間接経	3間接経費		式	1	8,343	
全体事業	費		式		58,600	

【単価等について】 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道246号	厚木秦野道路	4	8.4 km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					20,747	【消費税込み】
	改良費				5,195	
		土工	m3	2,267,680	1,647	
		軟弱地盤改良工	m3	100,014	188	
		法面工	m2	98,230	95	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,472	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m		45	
		函渠工	m	641	342	
		排水工	m	4,405	107	
		中央分離帯工	m	4,885	133	
		雑工	式	1	1,166	連絡等施設費+跨道橋+埋文調査
	橋梁費				5,093	
		100m以上	m	1,187	3,542	
		100m未満	m	161	1,551	
	トンネル費				3,663	
		NATM	m	1,689	2,853	
		シールド	m	151	810	
	IC·JCT費				5,484	
		IC	箇所	3	5,484	厚木北IC+伊勢原北IC+伊勢原西IC
		JCT	箇所			
	舗装費	•			965	
		車道舗装	m2	93,915	965	
		歩道舗装	m2			
	附帯施設費	•			347	
		交通管理施設工	式	1	272	
		遮音壁	m	470	75	
②用地及:	補償費		式	1	15,638	
	用地費		m2	293,435	12,512	
		宅地	m2	34,224	5,032	
		田畑	m2	209,743	7,133	
		山林·原野	m2	49,468	346	
		その他	m2			
	補償費	•	式	1	3,126	
③間接経費		式	1	177		
全体事業	費		式		36,562	

【単価等について】 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道246号	厚木秦野道路	4	8.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	8.4	55	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	231	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			286	

【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

道 企 第 2 8 号 平成25年9月3日

国土交通省関東地方整備局長 深澤 淳志 様

神奈川県知事 黒岩



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に 係る意見照会について(回答)

平成25年8月22日付け国関整企画第138号で照会のありました標記について、別添のとおり回答します。



(再評価)

(回答様式)

【道路事業】

事 業 名	「対応方針(原案)」案 ※	神奈川県知事の意見
一般国道246号	継続	別紙(1)のとおり
一般国道246号厚木秦野道路	継続	別紙(2)のとおり
一般国道468号 首都圈中央連絡自動車道 (横浜湘南道路)	継続	別紙(3)のとおり
一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (茅ヶ崎〜海老名)	継続	別紙(4)のとおり

[※] 貴県の意見を踏まえ、関東地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案) を作成するためのものです。

(別紙2)

一般国道246号厚木秦野道路は、東名高速道路、新東名高速道路及びさがみ縦貫道路と一体となって、広域的な利便性の向上や地域活性化などに寄与する大変重要な路線である。

また、地元自治体からの整備促進要望も大変強く、新東名高速道路の開通に間に合うよう、引き続き整備を推進するとともに、秦野市域をはじめとした未事業化区間についても、早期事業化を図られたい。